広報みすみ

昭和50年
5月1日
146号

発行所
三隅町広報委員会
発行者　森沢雄治
編集人　田村　守

人口のうごき
3月31日現在

世帯数		1,913戸
人口	男	3,475人
	女	3.886
	計	7,361

○村田清風祭
五月二十六日
○清風祭協賛
剣道大会
五月二十四日
午後二時から
沢江公会堂

農業の構造改善
圃場の整備事業

事業採択と今後のすすめ

国は去る四月、本町圃場整備事業計画に対し施行面積三二七ha、事業費一二億円で県へ採択決定しました。

町は早速施行区域の農家の参加同意書を添えて事業認可申請書を提出しましたが、県がこの申請を承認すれば七月に土地改良区を設立し役員の選出事業施行段階のとり決めを行つて、十一月に工事に着手する予定です。

そこで今後の手順について述べます。

「事業実施」　今年度は才一年次で八haのモデル的施行で秋から実施。五一年度は約四〇ha五二年度より五六年度は毎年六〇ha。約六年計画で三二七haを実施予定。同意率一〇〇%の地区で受入態勢の良い所、国、県道等他事業との関連を考慮して年度別に工区を決定して施行します。

「換地」　今秋まで全区域の道水路計画、圃場の区画を設計し今年度中に図面上へ事前換地します。

「土地改良区の役員選出」

総代…部落集団単位に一名計三三名総代を選出し、総会に代り重要案件を審議します

理事…総代会において九名選任し、理事長を定めて区の運営にあたります。

監事…三名総代会において選任します。

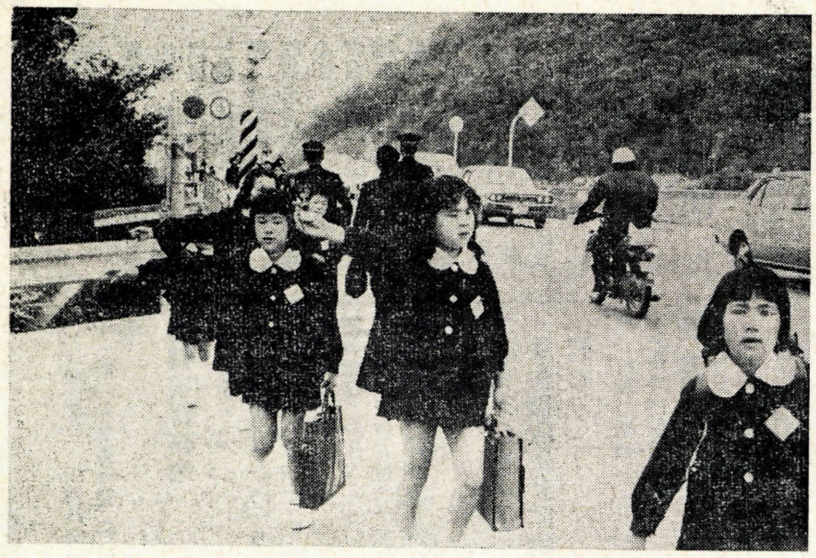
換地評価委員……部落より二～三名選出して、従前地の評価をします。（之は工事後換地によつて上、下田の差が生じた場合金銭精算の元になるもの）

換地委員…これも部落より三名程度選出し、その地区の換地について原案作成や調整を行います。

設計の協議…換地計画上から概略の農道、水路、区画等は今夏までに青写真を作成して協議しますが細部に亘つての説明は施行年度毎に事前に設計を行い皆さんに協議して実施します。

「未同意の皆さんへお願い」

本町で三、三%、二〇名未同意がありますが、一〇〇%の同意にならねば、あなたの地区は出来ませんので早急に御同意下さい。



春の交通安全健民運動

守ろうこどもと老人

春の交通安全健民運動が5月12日から5月21日までの10日間、全国一斉に実施されます歩行者及び自転車利用者の交通事故防止と特にこどもと老人を交通事故から守ることを重点目標にしております。飲酒運転はもちろん、スピードの出しすぎ、道路の不正使用、不法駐車は事故のもとです。家族みんなで各人の交通問題について話し合い、お互いが正しい交通ルールの実践を習慣づけ、おそろしい交通事故をおこさないように気をつけましょう。

50年
交通安全スローガン

（運転者向け）
急ぐほど減らす燃料
増す危険

（歩行者向け）
手をかそうちつちゃな子どもとお年寄り

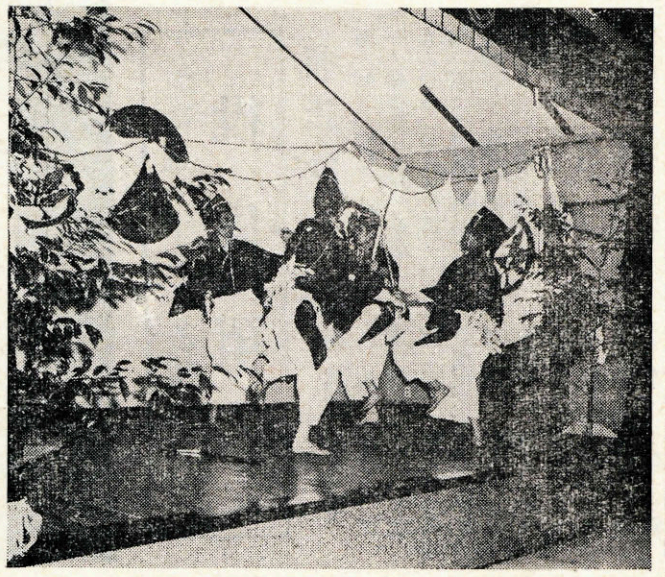
（こども向け）
とびだすなあのみち　そのみちこうさてん

軽自動車税の納期限　五月一日から三十一日まで

町指定文化財 第一号
滝坂神楽舞きまる

二百年の伝統を誇る滝坂神楽舞（三隅広報一三八号紹介ずみ）が古き芸能の良さを多く伝承していることが、町文化財専門委員会の研究で分つたので、県内、県外の神楽の専門家へ調査を依頼していましたが、この程その資料も整つたので、過る四月二十二日の教育委員会で決定、五月一日指定書が、滝坂神楽舞保存会会長粟畑貞太郎氏へ交付されました。

滝坂神楽舞は毎年十月二十日の夜半より翌日の明け方まで、滝坂の黄幡社へ奉納されております。保存会員二十一名、舞の種類は二十四曲あります。



税

税金はみんなのために使われています

みんなの生活に基本的に欠かせない道路や水道、学校などには国の予算から大きな費用があてられます。この費用は、一つ社会に住む私たちが出し合い負担しなければなりません。

さて、あなたが納めた税金一、〇〇〇円がどのように使われているか…。五〇年度予算では次のようになります。

◇私たちの健康や生活を守るために……二二〇円
◇住宅や道路などの整備のために……一三七円
◇教育や科学技術の振興のために……一二四円
◇地方財政の援助のために……二〇八円
◇国土の防衛のために……六二円
◇国債の償還や利子支払のために……四九円
◇その他の施策のために……二〇〇円

町有林草刈貸与地の返還について

三隅町が昔、農業生産奨励の目的で町有林地内の一部を個人、又は共同利用者に貸与している土地（通称、草刈場）が沢山あります。

しかし、現在は農業生産の技術がいちじるしく進歩して農耕用家畜は機械にかわり、粗飼料、元肥も山林の草資源を使用している農家はほとんどない現状であります。

このように、町が草刈場として貸与していながら現在は当初の目的どおり活用されておらず、放置されておるか、悪質な者は、果樹を植えたり、造林したりしているところさえ見受けられます。

町としては、このような貸与地につきましては、返還していただき、町の植林を積極的に推進して基本財産の造成を計りたいと考えていますので、貸与を受けている農家がなるべく自主的に返還の申出を早くされるようお願いします。

尚、今年度中に全地域の現地調査を実施して、未利用地又は他目的に利用している者に対しては強く返還を求めることにしていますので、よろしく御理解、御協力をお願いします。

（経済課）

恐ろしい日本脳炎

日本脳炎に感染発病するのは、蚊にさされることによつて蚊のもつている病原体であるウイルスが、体内にうつされるためだと言うことが判明している。

それ故、日本脳炎の感染から自分を守るためには蚊にさされなければよいわけである。また、蚊を撲滅すれば一番よいわけであるがそれは不可能に近いことである。

さて、蚊を防ぐことがだめだとすれば、人を日本脳炎の感染から守るためには人にウイルスを受けつけない抵抗力を与えることだけが残された方法である。

町では五月中旬にこれの予防接種を計画していますので是非接種を受けて下さい。日時及場所等については後日回覧でお知らせします。

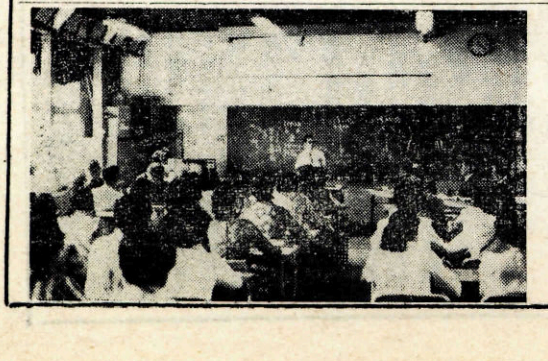
行事メモ

5月16日	3か月・6か月乳児検診
5月20日	健康相談日
5月20日 5月27日	母親学級
5月20日 21日 22日	日脳予防接種 〃 〃
5月29日	民生委員会

◇
◇
◇

第二十回町民
体育大会
五月十一日

◇
◇
◇



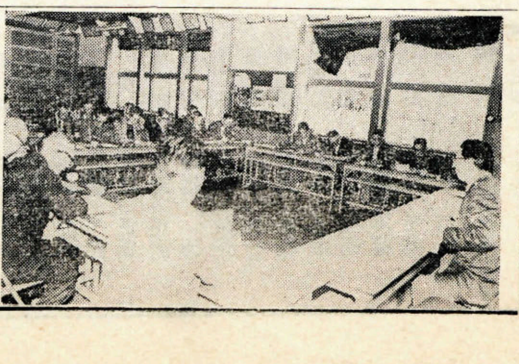
ミニ・ニュース

婦人リーダー研修

昭和五十年度の新役員を迎え新しい企画のもとに、婦人活動をスタートさせるに先だち会長をはじめ三十八名が、四月十九日朝から県新生運動協会の永富主査を講師にまねいて夕方まで研修を行いました。

自治公民館長会議

部落共同体の持つ相互扶助と親睦を深めながら自治機能を充分高めることが部落に住む自分達の生活を充実することになると、十八の部落公民館長と部落総代が集つて本年度の方針等の研修会議を四月十八日に開き活潑な討議がされました。



決意も新たに

町長、町議会議員きまる

わたくしたちの町の町長と町議会議員が四月二十七日の選挙によってきまりました。三隅町が発足してから三十三年、才九回目の選挙でした。お名前をご紹介します。

町長　森沢雄治　沢江

町会議員（受付順で敬称を省略させて頂きます）

栗畑貞太郎	滝坂
宇田川健作	宗頭
武田　豊	野波瀬
藤永　栄輔	野波瀬
植木　英策	豊原
河野　正夫	生島
内山　芳二	土手
篠原　勝	上中小野
河添　栄一	中村
田村　弥一	下中小野
上利　義政	宗頭
堀　光太郎	市
石田英太郎	滝坂
小西　誠治	小島
木村　庄	上ゲ
岡本　長一	豊原
奥野　幸雄	浅田
浅村　和夫	浅田
伊藤　隆治	豊原
市川　憲治	宗頭
角木　正延	野波瀬
山田　源吉	向山

三隅町スポーツ災害共済

給付額を大巾引上げ

三隅町、三隅町教育委員会、三隅町体育協会の主催の体育活動の円滑な実施を図るために、主催行事に参加された者が活動中に生じた負傷、疾病、廃疾又は死亡に対して、これを補償するための共済制度で四十六年度から発足しました本年度は町からの助成も三十万円に増額して頂きましたので給付額も大巾に引上げることになりました。

給付額は次のとおりです。（　）内は以前の額です

見舞金　二千円（一千円）

入院加療を要するときの見舞金
四千円～六千円（二千円～三千円）

死亡　五十万円（十万円）

廃疾　一級　四十万円（八万円）
二級　三十五万円（七万円）
三級　三十万円（六万円）

医療費
①医師の診断書により社会保険等による負担控除後の額の全額とする（三分の二）
②給付額の限度は最高七万円までとする（四万円）

お知らせ

保健婦による

健康相談日の開設

医療技術の進歩に伴いあらゆる疾病の治療対策に力が注がれている今日ですが、反面原因不明あるいは治療方針の明確でない疾病は後を断ちません。これらの疾病対策としては早期に異常を発見し症状の軽いうちに治療をする必要があります。三隅町では町民の皆さんの疾病予防、異常の早期発見の為に五月から保健婦により健康相談日を開設しますので健康に関してどんな事でもお気軽に御相談下さい

開催日時

○月一回才三火曜日　午後一時半～三時半、宗頭文化センター集会室（旧宗頭校区住民）

○毎週土曜日　午前八時半～十一時、役場養護室（町内全域）

●警察官募集

受験資格
昭和二十二年十月から昭和二十八年四月までに生まれた人

願書締切
昭和五十年五月二十六日

◆詳細は最寄りの駐在所へお問合せ下さい。

昭和五〇年度第一回危険物取扱者試験の実施

一、試験の種類
乙種才四類。丙種。

二、試験日時
昭和五十年六月十九日（木曜日）十時から

三、試験場所
長門地区消防本部

四、受験願書の提出期限
五月二十六日までに長門地区消防本部予防課まで提出

五、受験料
乙種才四類　一〇〇〇円
丙種　八〇〇円

六、その他、詳細については長門地区消防本部へ問合せ下さい。

◎善　意

三隅町社会福祉協議会寄付

一、香典返し寄付

宗頭　母　ヨネ死亡　弘中隆亮
下中小野　父　庄八死亡　田村弥一
野波瀬　母　スエ死亡　河村家子
小島　夫　得平死亡　佐々木八千代
正楽寺　妻　シズ子死亡　山村孝一

二、見舞返し寄付

向山　巴建設中村喜代彦
豊原　松岡　都

◎善行章交付

○明倫小学校一年　市部落
大谷　恭子さん

四月十九日午前十一時三十分頃市部落県道上で財布を拾い落主の同部落末永アルエさんに届けたものであります。

悲喜交々

昭和50年3月25日から4月24日まで

出生

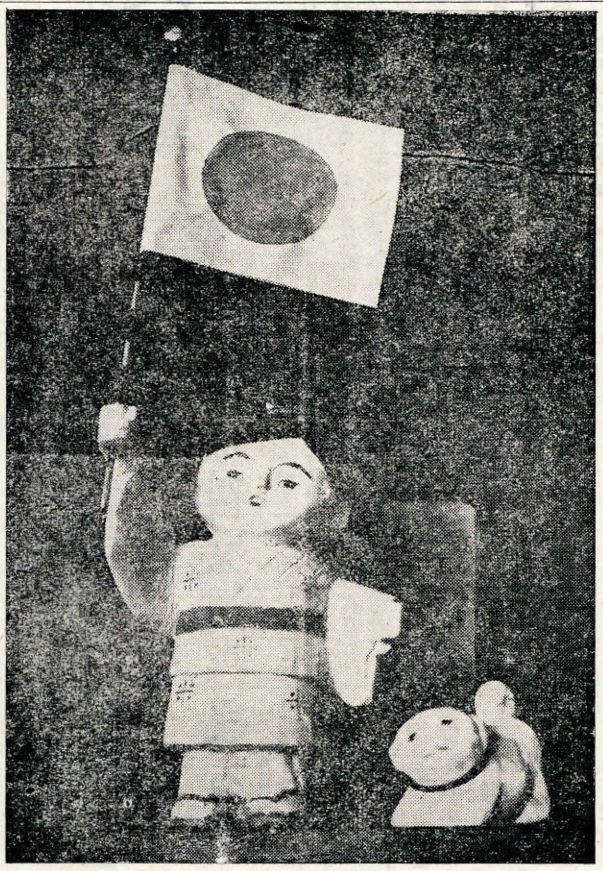
殿村新開	武林　輝	洋
宗頭	村岡道晴	忠志
豊原	福田康子	政彦
豊原	竹原美和	耕二
小島	中嶋光春	徹
下中小野	田村ひとみ	仁
上ゲ	山村　享	和正
縦ノ木	田村みゆき	広志

死亡

下中小野	田村庄八	七九才
野波瀬	河村スエ	七四才
小島	佐々木得平	八三才
正楽寺	山村シヅ子	七七才

国旗掲揚運動を起す

寿大学生のグループ活動



昭和三十三年七月に開校した寿大学も十八年目を迎えました。高令者学級として、又老人会の組織活動として、毎月二回以上休むことなく続いてきました。今年からは特に自発的なグループ活動が始められております。その中で、役員全員で国旗掲揚運動グループを結成して、国民の祝日（年間十日）には国旗日の丸の旗を各戸に掲げるよう呼びかけ運動を起こすことになりました。お年寄りの提言にご協力願います。

「旗日だよ
忘れちゃ駄目よ
これ御覧」

昭和五十年度　各種　役員紹介

嘱託員

滝坂	藤井　忠治
一ノ瀬中畑	高村　義雄
もみの木	小林安太郎
宗頭	堀永　美明
兎渡谷	森重　和勝
麓	岩本　常一
上中小野	田辺　勝也
下中小野	兼頭　勉
辻並	嘉神　義治
大竹	吉見　勝
市	中野　義夫
湯免	光永　正義
中村	田村　正義
土手	岡田　金祐
下広田	岡本　克彦
生島	水本　新一
久原	詠村　洋
津雲	田辺　正之
飯井	橋本　忠義
野波瀬	吉岡　郁雄
向山	山本　勲
豊原	野村　治作
二条窪	岡村　弥一
平野	田村　良弐
東方	木藤　実
小島	宇野　一義
浅田	植杉　三一
殿村新開	上村　実
沢江	村田　源治
上ゲ	上田　和雄

農業連絡員

滝坂	内田　勇悟
一の瀬中畑	桜田　裕治
もみの木	三崎　安義
宗頭1	沖村　良祐
宗頭2	守永　勇
兎渡谷	吉川　昭明
麓	岡本　昭夫
上中小野	藤田　智
下中小野	福田　悟
辻並	山中　繁一
大竹	河野　正義
正楽寺	刀祢　康幸
市上	大谷　鬼一
市下	末永　伊祐
中村東	平田　米幸
中村西	徳見　幸作
中村中	岡田　孝雄
中村下	有馬　長治
久原	山本　歳雄
生島	田村　賢治
津雲	山根　豊彦
飯井	森福　兼次
野波瀬	岩本　喜助
東方上	仲野　壮一
東方下	安藤　小一
小島1	岡村　兼一
小島2	仲野　光雄
豊原上	大草　雅司
豊原東	入江　歳一
豊原下	西村　大一
豊原上町	前田　安直
二条窪	岡本　万蔵
平野	田村　良弐
浅田1	石村　晃一
浅田2	上野　五郎
上ゲ	石村　利一
沢江	大津　勘作

37名

衛生自治会長

滝坂	藤井　忠治
一ノ瀬	秋山　薫子
中畑	小枝　菊重
縦ノ木	三島スミエ
宗頭	堀永　美明
兎渡谷	森重　和勝
麓	山下　芳子
上中小野	山本　寿治
下中小野	上田　文治
辻並	山中美代子
大竹	竹本　豊
市	中野　義夫
湯免	光永　正義
中村	種池　清吉
土手	田中　早苗
下広田	岡本チヨコ
久原	詠村　洋
生島	植田　利子
津雲	田辺　正之
飯井	橋本　忠義
野波瀬	吉岡　郁雄
向山	宮本シヅエ
上東方	田村コノエ
下東方	安藤スミエ
小島	宇野　一義
豊原	山本　義生
二条窪	岡村　弥一
平野	田村　良弐
浅田	植杉　三一
殿村新開	上村　実
沢江	大谷　尚子
上ゲ	大田　重子

体育指導委員

町の社会体育（町民体育大会や、ソフト大会、子供会球技大会、部落運動員、ハイキング大会等）を指導援助して頂く方々です、体育指導委員は八名、体育推進員は十名です。

◉体育指導委員

大島泰夫	三隅中学校
古田　弘	三隅中学校
山徳和人	明倫小学校
藤本　猛	浅田小学校
内田勇悟	滝坂
大野耕作	沢江
水津　亮	豊原
中野泰子	沢江

以上八名

◉体育推進員

落志　定	滝坂
村岡修一	上中小野
竹林英雄	市
河村勘治	野波瀬
岩本　稔	浅田
久行祥祐	宗頭
田中　清	下中小野
山根邦夫	中村
五嶋　勝	豊原
朝枝直人	小島

以上十名

母子保健推進員

次の方が母子保健推進員として各々担当地区におられます、お気軽にご相談下さい。

滝坂地区		山本小夜子
一ノ瀬、中畑、縦ノ木地区	縦ノ木	小林アキ子
宗頭、兎渡谷地区	宗頭	徳田フミエ
上中小野、下中小野、麓、辻並地区	上中小野	篠原菅子
市地区		古屋　博子
大竹、正楽寺、湯免、中村地区	中村	田原　秀子
土手、広田、久原地区	土手	田中　和子
生島、津雲、飯井地区	津雲	斉藤　幸子
豊原、二条窪地区	豊原	岡本キミ子
野波瀬地区		池信　昌子
向山、上東方、下東方地区	下東方	長尾ミドリ
平野、浅田、殿村新開地区	浅田	藤本富美子
小島地区		山名　シズ
沢江、上ゲ地区	沢江	平川　育子

部落自治公民館長

滝坂	山本　哲夫
一ノ瀬	鳥打　米蔵
中畑	前田　貞雄
宗頭	上利　義政
縦ノ木	田辺　敏助
兎渡谷	伊藤　裕治
上中小野	村岡　勝次
下中小野	松浪　昇
市	古屋　正資
生島	河野　正夫
中村	中尾　清
久原	谷岡　久作
豊原	岡本　長一
野波瀬	吉岡　郁雄
上東方	杉山　重治
小島	島田　九郎
平野	因藤　平蔵
浅田	奥野　幸雄
沢江	中野　恒夫

◉婦人会、青年団は次号に掲載します。